

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長  
 デイリーC.K.ホアン  
 台湾台北



第1315回 第28年度最終例会(夜間例会) 平成27年6月23日(火)

■ 点 鐘 18:30

■ ソング それでこそロータリー 馬場秀則ソングリーダー

■ 会長談話 小川秋實会長



最終の会長談話なので、初心に帰り、奉仕をめぐる話をします。ロータリーの目的は、簡単に言うと「奉仕の理念」を育むことです。以前は「奉仕の理想」と称していましたが、「理想」では実際には実現できない夢に近い意味なので、「奉仕の理念」に変わりました。しかし、「理念」は、経営理念など、組織の看板になる言葉で、日常生活で使う言葉ではありません。以前話しましたが、「奉仕のこころ」としたほうが分かりやすいと思います。ロータリーにおける奉仕とは、「世のため人のために尽くすこと」です。

奉仕に似た言葉に「ボランティア」、「チャリティ」などがあります。「ボランティア」は、自発的な意思によって、報酬なしに、労働力、技術、知識を提供して社会に貢献することです。一方、奉仕は、世のため人のために尽くすことは同じですが、自発的か否かを問いません。義務としての活動でも他人や社会のためになるなら奉仕です。奉仕には報酬を貰う場合も貰わない場合もあります。たとえば、公務員は報酬を貰って国民に奉仕しています。学校の授業で老人ホームに行き、高齢者の世話をを行うのは奉仕ですが、ボランティアではありません。すなわち、奉仕は、ボランティアも含み、範囲が広い言葉です。「チャリティ」は、元来はキリスト教由来で貧困救済等の福祉的活動を指します。日本で行われている主なチャリティ活動は、歳末たすけあい運動、赤い羽根共同募金、チャリティ・コンサート、大規模災害発生時の義援金などがあり、ほとんどが社会事業や救済運動への金品の寄付活動です。ロータリーの奉仕活動は、ボランティアもあるし、チャリティもあるといえます。

「情けは人の為ならず」ということわざがあります。「情けは人のためではなく、いずれは巡って自分に返ってくるのだから、誰にでも親切にしておいたほうがよい」という意味です。ロータリーの「奉仕の理念」は、これとは異なります。よい報いを期待して、世のため人のために尽くすのではなく、尽くすこと自体が目的です。長野の冬季オリンピックでは、信州大学の多数の学生がボランティアとして参加しました。終了後に、彼らの感想を聞いたところ、ほとんど全員が満足感、充実感に溢れていました。これはまさに、ロータリーの「奉仕の理念」が「世のため人のために尽くすこと」であり、それに喜びを感じるということに合致します。体や頭を動かすボランティアは、金品を寄付するチャリティよりも、満足感が大きいようです。ロータリーの奉仕活動は、寄付はともかく、もっとボランティアをやったほうがよいのではと思います。

私は高校生のとき、終戦直後で海外に抑留されていた軍人が引揚げてきて、彼らが郷里に戻る列車内で援護活動をしました。いまでいうボランティア活動です。そのグループのモットーの一つが「顧み

次頁へ続く

てのちの微笑」という言葉で、援護活動したあとの気持ちを表していました。今でも私の心に残る言葉です。会長として何とか一年間務めさせていただきました。来月以降、「顧みてのちの微笑」を感じるのではないかと思います。クラブの運営にご協力いただいた会員各位に心から感謝いたします。

■ 幹事報告 小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

## ■ 委員会報告

ゴルフ部より 唐澤敏治ゴルフ部長



- ・6月度 伊那中央RCゴルフコンペの成績発表・表彰  
優勝：宮澤友浩会員 準優勝：伊藤好会員 3位：大谷智鶴会員
- ・次年度役員は ゴルフ部長：宮澤友浩会員 幹事：三澤耕太会員



## ■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 会長として最後の例会になりました。会員各位に一年間支えていただいたことを感謝いたします。
- ◆井上修 出席委員、本日で終了です。一年間お世話になりました。
- ◆平澤理 出席委員として一年間お世話になりました。
- ◆宮澤友浩 最終ゴルフ部例会にて初優勝させて頂きました。天気・メンバーにも恵まれ、メンバー皆様のおかげです。ありがとうございます。

(発表 伊藤幸明委員長)

■ 出席報告 会員数34名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席率100% 前回出席率修正なし (発表 平澤理委員)

## ■ 理事会報告



現年度理事会報告 小向誠一幹事

- 1、会員職業分類の変更について
- 2、ホームページの移動について
- 3、光電話への変更について



次年度理事会報告 中川博夫会長エレクト・小向誠一次期会計

- 1、第29年度役員・理事・委員会構成について
- 2、名誉会員の推戴について
- 3、伊那RCとの取り決め事項について
- 4、年間行事予定について
- 5、予算案について
- 6、誕生祝い品について
- 7、7月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
- 8、その他

■ 点 鐘 19:00

## ■ 観桜会

担当：親睦活動・家族委員会

挨拶 大谷智鶴委員長

挨拶 小川秋實会長



信大に在職中のことですが、アメリカからの客員教授に1年間学生の授業をしてもらいました。学生からの評判が大変よかったのですが、その教授が私に言ったことは、日本人の「本音と建前の違い」に大変困惑したということです。確かに、日本人は本音を言わないことが多いと思います。封建時代には、「意見を言うことは無礼」という価値観があり、それが今でも残っているためです。本音を言わないのは大学における意思決定機関の会議でも同じでした。本音で話し合うには、共に飲み食いするに限ります。私が大学の責任者だったときは、重要な会議の直後は必ず学長室、または学部長室

で会議出席者と酒を楽しむようにしました。ロータリーでも、このように共に飲み食いする会は、会員の相互理解に役立つはずで。中国から由来した「肝胆相照らす」という言葉があります。中国では肝臓と胆嚢が心の奥底を意味しました。心の奥底を照らさうことから、互いに心の底まで打ち明けて理解し合い、親しく付き合うことを意味しました。この懇親会ではぜひ肝胆相照らしてください。

乾杯 池田幸平直前会長

ソング「手に手つないで」 馬場秀則ソングリーダー

万歳 三澤耕太会員



次回例会

7月7日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

「第29年度初例会」新任式・誕生日祝い・各委員会事業計画発表